

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールⅢ (Grammar IV①) Seminar III (Grammar IV①)		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(特になし)	Grammar I・II・IIIを修了した学生。または個別にレベル判定試験を受験し履修許可を得た学生。
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
Yumiko Tsutsumi	The 3rd floor of Lecture Building	From 9:00 to 18:00 on Monday to Friday except for Wednesday		授業中に指示します
授業の概要				
Students will review grammar learned in Grammar III, as well as learn more complicated grammar.				
授業の目標				
This course teaches students how to conjugate verbs and use the correct verb form in a variety of situations. It will also teach students how to use active and passive forms, modal verbs, infinitives and gerunds, and sentences with two objects.				
授業の方法				
Students will learn grammar through a series of lectures and grammar focused activities.				
学習の成果 (学習成果)				
Students will be able to use causative structures, phrases of ability, permission, obligation, certainty, probability, passive structures, and will be able to indentify differences in meaning between present perfect, present perfect continuous, simple past, and past perfect sentences.				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス, Oxford English Grammar Course: Section 1 (p.5-7)①			
第2回目	Oxford English Grammar Course: Section 1 (p.12-13)③			
第3回目	Oxford English Grammar Course: Section 2 (p.18-19)⑤			
第4回目	Oxford English Grammar Course: Section 3 (p.28-30) [QUIZ 1]⑦			
第5回目	Oxford English Grammar Course: Section 3 (p.35-37)⑨			
第6回目	Oxford English Grammar Course: Section 4 (p.47-49)⑪			

第7回目	Oxford English Grammar Course: Section 4 (p. 53-54) [QUIZ 2]⑬
第8回目	Midterm Exam⑮
第9回目	Oxford English Grammar Course: Section 5 (p. 62-64)⑰
第10回目	Oxford English Grammar Course: Section 5 (p. 72-74)⑲
第11回目	Oxford English Grammar Course: Section 6 (p. 81-82)㉑
第12回目	Oxford English Grammar Course: Section 7 (p. 98-101) [QUIZ 4]㉓
第13回目	Oxford English Grammar Course: Section 7 (p. 105-106)㉕
第14回目	Oxford English Grammar Course: Section 8 (p. 115-117)㉗
第15回目	Oxford English Grammar Course: Section 8 (p. 120-121) [QUIZ 5]: No homework - optional review sheets㉙
事前・事後学習	Do tasks instructed in the previous lesson and review for your next class.

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	Participation is based on preparation, use of English, classroom behavior, and attendance.
レポート	15%	Students are expected to submit their homework on time each week.
調査報告書		
小テスト	10%	5 short quizzes will be given to test knowledge on the covered topics.
試験	55%	A midterm exam worth 25% and a final exam worth 30% will be administered.
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

<ul style="list-style-type: none"> • Oxford English Grammar Course (Advanced) (green) [1st half] • Oxford Practice Grammar (Advanced) (light green)

履修上の留意点・ルール

<ul style="list-style-type: none"> • Phones are to be switched off, or in manner mode, and put away during class time. No phone use during class. • The teacher may change the syllabus at any time, for any reason.
--

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールⅢ seminar Ⅲ		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(「健康運動実践指導者」「スポーツプログラマー」資格取得者科目)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
鈴木 愛勇	講義棟1F 国際交流センター	随時		授業中に指示します
授業の概要				
<p>実際の試合において選手あるいはコーチとして最高のパフォーマンスを発揮するためには、実際の試合の運営について熟知していることが必要である。ゼミナールⅢでは、専門種目以外の試合を観戦することによって様々な種類の試合およびイベント時に観衆や役員の活動が、選手やコーチの活動にどのような影響を与えているか観察し分析を行う。この演習ではまず、異種目の試合を観戦し、これからの活動内容を報告書に記載し、授業時間内での分析方法及び分析結果に関する反省的議論を行える能力を養う。</p>				
授業の目標				
<p>スポーツにおける様々なスポーツ種目の公式戦や大会の観戦に実際に出向き、試合の管理・運営体制や安全対策について学習し、選手、指導者、観衆、役員それぞれの視点から比較・分析し、説明できる能力を身に付けることを目標、目的とし、自身の専門種目の試合運営等において実施することができる。</p>				
授業の方法				
<p>授業は演習形式で行う。また試合を観戦してまとめたレポートを発表し、それを題材にディスカッションを行う。</p>				
学習の成果（学習成果）				
<ul style="list-style-type: none"> 自身の専門競技種目での大会運営方法を説明できる。 自身の専門競技種目以外での大会運営方法を説明できる。 公式戦や大会観戦での試合の管理、安全対策などを説明できる。 				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業における注意、成績評価方法、グループ分け）			
第2回目	スポーツ観戦の事前学習①			
第3回目	スポーツ観戦の事前学習②			
第4回目	スポーツ観戦の事前学習③			
第5回目	スポーツ観戦の事前学習④			
第6回目	発表準備①			

第7回目	発表準備②	
第8回目	発表・スポーツ観察演習事前調査書提出	
第9回目	スポーツ観戦の事前学習⑤	
第10回目	スポーツ観戦の事前学習⑥	
第11回目	スポーツ観戦の事前学習⑦	
第12回目	発表準備③	
第13回目	発表準備④	
第14回目	発表・スポーツ観察演習報告書提出	
第15回目	まとめ（準備：これまでの授業内容をまとめておく）	
事前・事後学習	各授業前後に指示します。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	授業に積極的に取り組み、必要なことはノートに記入している。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	PowerPointによる発表内容によって評価する。
その他		
教科書と参考図書		
特になし		
履修上の留意点・ルール		
私語、飲食物の持ち込み、携帯電話禁止。		

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ゼミナールIII Seminar III		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(公務員試験)	卒業後の進路として(地方)公務員を志望していること。 ゼミナールIとIIを履修済みである
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会基礎教養、法学				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
日本国憲法				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
川副令	講義棟2階	初回授業で発表する		授業中に指示します
授業の概要				
地方公務員を志望する学生の学習支援を目的とする。筆記試験の出題範囲全体を対象に、ゼミナール形式で過去問演習を行う。行政職2次試験科目のうち、いわゆる適性試験の練習を行う。受講生は公務員試験受験に向けて、各々弱点克服に取り組むことができるようになる。				
授業の目標				
(1) 受講者全員が既に筆記試験の出題範囲について一通り自分で勉強していること、また各々自分で勉強計画を立て、それに従って学習を進めていることを前提に、総合的な過去問演習を行う。各自弱点分野を確認し、効率的に勉強に取り組むことができるようになる。(2) 行政職2次試験科目のうち、早めの対応が必要と思われる適性試験の練習問題に取り組む。適性試験の特徴を把握し、自分自身で計画を立てて勉強することができるようになる。				
授業の方法				
演習の時間を、前半と後半に分ける。前半は毎回事前に予習範囲を指定して、学生全員が同じ問題に取り組んだ上で参加する。また、各参加者に担当問題を割り振って、解答解説の発表を求める。後半はその場で問題を指定し、一定時間内に回答できるか、本番を想定した練習を行う。				
学習の成果(学習成果)				
地方公務員試験筆記試験の出題範囲について一通りの勉強を終え、弱点分野を明確にし、効率的に勉強することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	スケジュール調整、文章理解1			
第2回目	数的推理1			
第3回目	判断推理1			
第4回目	適性試験対策1			
第5回目	文章理解2			
第6回目	数的推理2			

第7回目	判断推理2
第8回目	適性試験対策2
第9回目	社会科学1
第10回目	人文科学1
第11回目	自然科学1
第12回目	文章理解3
第13回目	数的処理3
第14回目	社会科学3
第15回目	適性試験対策3
事前・事後学習	事前学習：割り当てられた過去問に取り組むこと。事後学習：各自練習問題に取り組むこと。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	50%	出席状況のほか、毎回の問題への取り組み、質疑応答への参加等を総合的に評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	50%	担当問題について、正解をしっかりと理解しているか、解説の準備が十分にできているか、他の参加者に伝わるよう適切な仕方での解説ができているか、を評価する。
その他		

教科書と参考図書

『地方初級教養試験：過去問350（2017年度）』実務教育出版を教材とする。他の教材、参考図書等は授業で紹介する。

履修上の留意点・ルール

毎回教材を持参すること。このゼミナールはあくまで学生自身による勉強を支援するものです。各自目的意識を持ち、主体的に学習に取り組んでください。